

1-1. 事業概要

2021年度は前年に引き続いて新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年であった。

2021年4月末から東京オリンピック・パラリンピック期間を挟んで9月末まで、緊急事態宣言またはまん延防止重点措置が全国の多くの地域で発令され、日常生活や社会活動が制限された。その後一旦収束の気配を見せたものの、2022年1月末から3月末にかけて第6波としての感染拡大が繰り返された。

JSCA活動も大きく影響され、総会や各種委員会、講習会など、対面での開催ができないか、または大幅に縮小せざるをえない状況が続いた。特に、近年のJSCAの最も大きなイベントの一つである構造デザイン発表会は、沖縄での開催が3度にわたって延期された。こうした中、感染拡大の合間を縫って、2021年11月にJSCA構造アイデアコンペ「アイス棒タワーコンテスト」が、およそ60チーム、300名の参加者を集めて開催された。久しぶりの対面イベントに会場は熱気あふれる雰囲気、多くの参加者がオンラインでは味わえない臨場感を共有し、対面イベントの意義を新たにした。

活動が制限される一方で、オンライン会議やオンライン講習会は着実に浸透し、これまでの距離や時間の制約を超えて、全国から参加できる環境が定着してきた。たとえば、JSCA定期会議へ支部長の参加機会が増加したし、本部主催の講習会/報告会へ関東地区以外からの参加者が、これまでほぼ0%だったものが30%を超えるに至った。また、西日本4支部ではオンラインによる合同交流会が新規に企画・実施された。コロナ感染収束後もこの状況は維持されると思われ、本部/支部、支部/支部の境を越えた活動がさらに広範に行われることが期待される。

2021年度の重点目標に関する事業、およびその他の主要な事業は下記の通りであった。

1) JSCA中期ロードマップの実行に向けた活動

各委員会において、中期ロードマップの2022年度実行に向けて具体策を検討した。

主な具体策は下記のとおりで、順次実行に移されている。

- ①会員サービス・メリットを拡充して会員増につなげる活動
 - ・10年以上が経過したホームページを見直し、最新の機能と魅力あるコンテンツを装備する新しいホームページ制作をスタートした。
 - ・機関紙structureについて、従来の冊子配付に加えて、どこでも気軽に読めるようにWEBでの閲覧を可能とする電子ブック化に取り組み、2022年7月公開予定である。
 - ・賛助会員メリットの拡充として、講習会などで賛助会員参加費を設けることとした。
 - ・JSCA活動のさらなる活性化のため、全国の会員が本部委員会に参加できるように内規を整備した。
 - ・JSCAの魅力を感じてもらい会員増にもつなげるため、学生をはじめ多くの参加者を集めて、アイス棒タワーコンテストを実施した。

②収支の改善に向けた活動

- ・構造設計一級建築士講習の修了考査問題と解答例の販売に合わせ、解説講習会を実施する。
- ・構造レビューは件数増加のために対象の拡大を目指して検討中である。

③JSCA建築構造士に関わる活動

- ・コロナ感染拡大で中断していた認定試験、資格更新、定期講習会を再開した。
- ・JSCA建築構造士の価値向上のための施策はなかなか打ち出せず、受験者数・資格者数の増加は実現できていない。

2) 木造建築の普及に向けた活動

- ・中・大規模木造建築物の最新の知見を取り入れた「JSCA版木造建築構造の設計（第2版）」を2021年5月に発刊した。これに伴い「JSCA版木質工事特記仕様書」を改訂し公開した。
- ・「木造準耐火計算シート」および解説書を作成中である。
- ・中・大規模木造に関するQ&Aをまとめ、ホームページに掲載する準備を進めている。
- ・地球環境問題への取り組みとして「中・大規模ビル型建物への木材活用に関する提言」を検討してきたが、提言発信ではなく、社会情勢の進展に応じた具体的な活動を行うことに注力することとした。

3) BIMの普及・推進に向けた活動

- ・2020年度に引き続いて国土交通省建築BIM推進会議および関連部会に参画し、ガイドライン（第2版）の策定に協力した。JSCAのBIMパラメータの詳細仕様を決定し、JSCAホームページにそのパラメータリストを公開した。
- ・BIMデータ相互チェックツールのための仕様決定とチェック用データファイルの作成を行い、BIM普及の準備を進めている。

4) 会員の技術力向上に向けた活動

- ・オンラインによる講習会開催が本格化した。本部主催の主な講習会は以下の通り。
 - 第32回JSCA賞受賞者講演会
 - 賛助会員との技術交流会(2回)
 - 構造デザインシンポジウム(2回)
 - 技術委員会報告会（非構造部会、地盤系部会）
 - 中堅構造技術者講習会（スキルアップセミナー）
- ・2021年10月にJSCA性能設計【耐震性能編（簡易法）】（案）をまとめ、ホームページに公開した。2022年度にstructure主集での紹介と技術委員会報告会での詳細説明を行い、普及展開を図る。

5) 第32回JSCA賞

2021年度の総会においてJSCA賞の発表と賞状授与を行った。その後、同会場にて審査委員長の講評と受賞者の記念講演（オンライン併用）を行った。受賞者、受賞作品は以下の通りである。

作品賞 永山憲二氏 追手門学院大学 ACADEMIC-ARK
新人賞 荒木美香氏 丘の礼拝堂

上記以外にも様々な事業を行った。詳細は次ページ以降の委員会活動記録、支部活動記録などを参照されたい。

I. 2021年度事業報告書 1. 事業報告

1-2. 役員／体制

□役員	
会長	常木康弘（代表理事）
副会長	横山一智（代表理事） 小林秀雄 久田基治
専務理事	嵐山正樹（業務執行理事）
常務理事	日野康彦（業務執行理事）
理事	
本部担当	江尻憲泰 大島嘉彦 太田俊也 小西泰孝 小林真一郎 佐々木直幸 塩手博道 篠崎洋三 柴田昭彦 島野幸弘 杉浦盛基 中塚光一 渡邊秀幸
支部担当	北海道 渡邊和之 東北 平山浩史 関東甲信越 唐戸弘樹 中部 内本英雄 関西 大住和正 中国 村瀬忠之 四国 戸田友一 九州 今林光秀
監事	伊藤 優 新宮清志 向山松秀
□支部長	各支部担当理事が兼務
□協会顧問	弁護士 服部成太 公認会計士 元森俊雄 前専務理事 福島正隆
□事務局員	職員数4名（うち大阪1名）

1-3. 会員数の推移

年度	正会員	一般会員	学生会員	賛助会員	名誉会員	学会会員	JSCA建築構造士	構造設計一級建築士
10	4020	135		227	29	165	2457	※3275
11	3983	131		233	28	163	2249	※3368
12	3925	131	6	230	28	157	2183	※3342
13	3909	129	8	227	26	155	2113	※3355
14	3929	134	7	231	25	151	2030	※3388
15	3910	126	6	235	25	147	1957	※3353
16	3867	122	6	234	29	145	1862	※3342
17	3853	88	10	234	32	143	1785	※3308
18	3803	101	10	237	31	137	1727	※3250
19	3773	111	7	240	34	134	1638	※3205
20	3706	116	6	239	35	128	1576	※3161
21	3609	122	3	239	35	123	1469	※3071

※構造設計一級建築士証の写しを添付し、本協会に届け出た会員の数である。